令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	製図	単位数	２	学年	１	科	機　械　科

１、科目の目標

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
科目の目標	工業の各分野に関する製図について、日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	製作図や設計図に関する課題を発し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野における部品や、製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２、使用教科書・副教材

機械製図（実教出版）、基礎製図練習ノート（実教出版）、プリント教材・テキスト（ＣＡＤ）

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	・機械製図と規格 ・製図用具とその使い方 ・図面に用いる文字と線 ・基礎的な図形の書き方 ・投影図の書き方	考査は行わない	20
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	・第三角法 ・立体的な図示法 　　等角図 ・展開図	考査は行わない	28
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	・〈製作図〉 ・製作図のあらまし ・図形の表し方 ・寸法記入法 ・〈３次元ＣＡＤ〉 ・モデリングの基礎、アセンブリの基礎	考査は行わない	22

４、評価の方法

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
評価の趣旨	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得するとともに、図面などを正しく読み、作成することができる。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握（分析）し、考察を深めるとともに、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身に付ける。	各種機械や部品の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心を持ち、機械製図の意義や役割の理解及び諸問題の解決を目指して、主体的に取り組む。
評価区分	Ａ：「充分満足できる」状況　　Ｂ：「おおむね満足できる」状況　　Ｃ：「努力を要する」状況		

５、学習にあたっての注意とアドバイス

・作品の提出期限を守る。
・検図による間違いの個所を理解する。